

HOP STEP JUMP

ふと咲けば山茶花の散りはじめかな

～平井照敏～

【山茶花】

ツバキ科の常緑小高木である山茶花の花。日本特産種で四国・九州・沖縄に自生種があり、十～十二月、枝先に白い一重の花が咲く。園芸種には鮮紅色・桃色・絞りのものや八重咲きもある。椿のように花が落ちるのではなく、花卉が散る。

～「俳句歳時記 第五版 冬」角川書店編～

山茶花は、ある日咲き始めたかと思えば、もう散り始める……けれど、散りながら次々と咲き続けるたくましい花です。繊細でありながら強い生命力をもっている植物とも言えるでしょう。「たくましい」とは、意志が強く、多少のことではくじけないことです。社会生活（学校生活）を送っているとさまざまな困難にぶつかりますが、山茶花を見習って、繊細さを大切にしながらも、強く雄々しく前に進んでいきたいものですね。

この季節、ご近所のお家の庭先に山茶花の花が咲いているのをよく見かけます。皆さんも辺りを見回し、心にとめてみてください。

私のおすすめの一冊⑧

『国宝の解剖図鑑』



佐藤晃子（エクスタレッジ）

“国宝”と聞くと、中学生の皆さんには何だか近寄りたいたいものを感じるかもしれませんが、意外にも“買い物”をするときに何回も見たことがあるはず。勘の良い人は気づいたと思いますが、10円玉のデザインになっている「平等院鳳凰堂」です。

この本は日本の国宝の中から特に有名なものを選び、筆ペンと鉛筆で描いたような親しみやすいイラストをメインに解説したものです。専門書のような堅苦しい本ではなく、「ここがすごい」といった国宝の見どころをズバリ簡潔に示しているところがわかりやすいです。工芸・絵画・彫刻・建造物と、各分野の名品が、まるで友人のように近づいてくる本です。小学校の修学旅行で行った“あの場所”の建造物も、中学校の修学旅行で行かなくなった“あの場所”の仏像や建造物ものっています。読後はきっと、あなたの心の中に宝物が残ることでしょう。（長坂 省吾）

★次回は、4組担任の菊池先生です。

職場体験を終えて

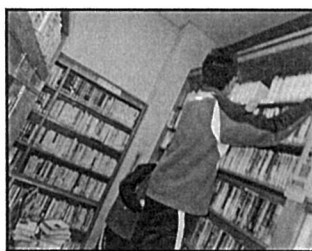
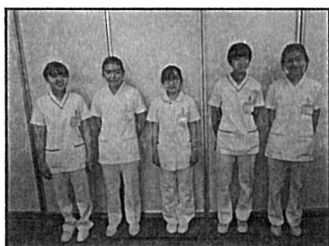


11月7日(木)に職場体験学習が終わりました。今回の職場体験学習のねらいは、

- ①職場体験学習を通じた学習活動により、他者とのかかわりを通して、自己のよさや適性を理解できるようにします。
- ②職業や勤労の意義や価値を考え、自己にふさわしい進路を探求する能力や態度を育てます。
- ③マナー意識と責任感・コミュニケーション能力を高め、社会の一員としての自覚を高められるようにします。

というものでしたが、体験を終えて中学校に報告にきた皆さんの充実した笑顔を見てみると、実り多い体験ができたことがひしひしと伝わってきました。

進路というどうしても中学卒業後のことを中心に考えてしまいがちですが、将来的にどんな職業につきたいか、そのためには今どんなことを学習すればよいか、と幅広く考えるよい機会を得られたのではないのでしょうか。これを機会に一段と成長した皆さんの姿が頼もしく思えました。



【12月の予定】



- 12月 3日(火) 1、2年講演会(薬物乱用防止教室)
3日(火)～6日(金) 3年個人面談
10日(火) 生徒会役員選挙
11日(水) 個別級区交流遠足
16日(月)～19日(木) 1、2年個人面談
17日(火) 個別級芸術鑑賞
24日(火) 大掃除
25日(水) 終業式

